

中間期(平成26年9月期)決算概要について

平成26年11月26日
株式会社国際協力銀行

中間期(平成26年9月期)決算概要

1. 中間期(平成26年9月期)業績サマリー
2. 中間損益計算書:前年同期比較
3. 中間貸借対照表:前年度末との比較
(参考)外貨貸出の状況推移
4. リスク管理債権等の状況

1. 中間期(平成26年9月期)業績サマリー

(単位:億円)

	H26/9(A)	H25/9(B)	(A)-(B)
業務粗利益	487	495	▲ 8
業務純益	406	421	▲ 15
経常利益	475	388	87
中間純利益	475	388	86

(単位:億円)

	H26/9(A)	H26/3(B)	(A)-(B)
貸出金残高	135,783	126,554	9,229
うち外貨貸出金	116,875	106,916	9,959
外貨貸出金米ドル換算額(億ドル)	1,067	1,038	29
保証残高	25,034	24,226	808
総資産	172,060	163,460	8,600

- ・業務純益は業務粗利益の減少により、H25/9比15億円減少。
- ・経常利益は組合出資に係る持分損益等により、H25/9比87億円増加。
- ・中間純利益はH25/9比86億円増加。
- ・貸出金残高は外貨貸出金の増加等により、9,229億円増加。

2. 中間損益計算書：前年同期比較

(単位：億円)

	H26/9(A)	H25/9(B)	(A)-(B)
業務粗利益	487	495	▲ 8
資金運用利益	339	320	18
役務取引等利益	132	123	8
その他の業務利益	15	51	▲ 35
営業経費(△)	▲ 80	▲ 74	▲ 6
業務純益	406	421	▲ 15
貸倒引当金戻入額(△繰入額)	▲ 35	▲ 67	32
その他損益	104	34	69
償却債権取立益	1	0	1
組合出資に係る持分損益	102	33	68
その他の損益	0	0	0
経常利益	475	388	87
特別損益	▲ 0	0	▲ 0
中間純利益	475	388	86

中間純利益は475億円となり、前年同期比86億円の増加。主な増減理由は以下の通り。(以下、増減は前年同期比)

- ・資金運用利益は残高増加等により、18億円の増加。
- ・役務取引等利益は、承諾案件に係る手数料増加等により、8億円の増加。
- ・その他の業務利益は、為替差益の減少等により35億円の減少。
- ・貸倒引当金は、一般貸倒引当金の増加により35億円の繰入。
- ・その他損益は、組合出資に係る持分損益等により、104億円を計上。

3. 中間貸借対照表(資産):前年度末との比較

(単位:億円)

	H26/9(A)	H26/3(B)	(A)-(B)
資産の部合計	172,060	163,460	8,600
現金預け金	6,911	7,231	▲ 320
買現先勘定	-	2,027	▲ 2,027
有価証券	2,472	2,272	200
貸出金	135,783	126,554	9,229
うち外貨貸出金米ドル換算額(億ドル)	1,067	1,038	29
その他資産等	3,182	2,437	745
支払承諾見返	25,034	24,226	808
貸倒引当金	▲ 1,323	▲ 1,288	▲ 35

資産の部合計は17兆2,060億円となり、主な増減理由は以下の通り。(以下、増減は前年度末比)

- ・有価証券は、株式の新規取得等により、200億円増加。
- ・貸出金残高は、外貨貸出金の増加等により9,229億円増加。
- ・支払承諾及び支払承諾見返は、新規保証が保証解除を上回ったこと等により808億円増加。

3. 中間貸借対照表(負債・純資産): 前年度末との比較

(単位: 億円)

	H26/9(A)	H26/3(B)	(A)-(B)
負債の部合計	148,298	140,047	8,251
借用金	86,757	84,077	2,680
社債	30,048	27,113	2,935
その他負債等	6,328	4,487	1,841
退職給付引当金	129	142	▲ 13
支払承諾	25,034	24,226	808
純資産の部合計	23,761	23,413	348
株主資本	23,053	22,713	340
繰延ヘッジ損益	618	644	▲ 26
その他有価証券評価差額金	89	54	35

負債の部合計は14兆8,298億円、純資産の部合計は2兆3,761億円となり、主な増減は以下の通り。

(以下、増減は前年度末比)

- ・借用金は、外国為替資金特別会計からの借入金増加等により2,680億円増加。
- ・社債は、発行額が償還額を上回ったこと等により2,935億円増加。
- ・株主資本は、前年度利益処分にかかる国庫納付(△456億円)があった一方で、新株発行310億円及び中間純利益475億円計上により増加。

(参考)外貨貸出の状況推移

	H24/9	H25/3	H25/9	H26/3	H26/9	増減率 (H26/3から H26/9)
貸出金(億円)	81,311	105,551	118,396	126,554	135,783	7.3%
うち外貨	61,916	86,192	97,909	106,916	116,875	9.3%
外貨割合	76.1%	81.7%	82.7%	84.5%	86.1%	-
外貨USD換算額(億ドル)	797	916	1,001	1,038	1,067	2.8%
ドル-円 為替レート	77.60円	94.05円	97.75円	102.92円	109.45円	-

- ・平成26年9月末の貸出金残高は、約14兆円。
- ・貸出金総額に占める外貨貸出金の割合は増加傾向。
- ・外貨貸出金は外貨ベース(ドル換算ベース)で26/3比2.8%増加したが、円安の影響により円貨ベースでは9.3%増加。
- ・外貨貸出金残高のうち、ドル建のものは26/9末時点で10兆9,846億円(1,003億ドル)であり残高の太宗を占める。

4. リスク管理債権等の状況

(1) 銀行法施行規則基準

(単位:億円)

	H26/9(A)	H26/3(B)	(A)-(B)
破綻先債権	-	-	-
延滞債権	964	963	1
3ヵ月以上延滞債権	803	755	48
貸出条件緩和債権	753	773	▲ 20
リスク管理債権合計①	2,521	2,493	28
貸出金残高合計②	135,783	126,554	9,229
リスク管理債権比率(①/②)	1.86%	1.97%	▲ 0.11%

(2) 金融再生法基準

(単位:億円)

	H26/9(A)	H26/3(B)	(A)-(B)
破産更正債権及びこれらに準じる債権	0	-	0
危険債権	964	963	1
要管理債権	1,556	1,529	27
開示債権合計①	2,521	2,493	28
正常債権	158,693	148,652	10,041
合計②	161,215	151,145	10,070
開示債権比率(①/②)	1.56%	1.65%	▲ 0.09%

- ・リスク管理債権残高(銀行法ベース)及び開示債権残高(金融再生法ベース)は、対象債権残高の増加に伴い、前年度末と比較してそれぞれ28億円増加。
- ・リスク管理債権比率は1.86%(前年度末比0.11%減)、開示債権比率は1.56%(同比0.09%減)

※JBICの中間財務諸表等は平成26年12月末日までに「金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム」(EDINET)にて開示予定です。